ＬＬＣ消泡効果テスターバブルナース

取 扱 説 明 書

内 容 物

① バブルナース本体×１　② サンプル注入用スポイト×1

③ ノズル×1　④ 取扱説明書×１

使用方法

① 付属のスポイトで本体両脇の新液ボトルに新しいクーラントを入れ、しっかりとキャップを締めてください。

② 付属のノズルを本体へ取り付けたあと、その上部にある切替バルブを軽く開けます。
開けすぎると冷却液を吸わなかったり吸い取り量が少なかったりしますので、その様な場合は、適度に切替バルブを閉めてください。

③ ノズルの先端をラジエターのリザーブタンクへ差し込み、ポンプ部をいっぱいまで握り冷却水を吸い上げます。

④ 冷却水を吸い上げ終わったら切替バルブを確実に閉め、ノズルごとラジエターから抜き取ってください。
その後ノズルを本体からはずし、目視で汚れ具合を確認してください。
ラジエターから抜き取る際は、表面張力によりホース部に残存した冷却水が人体や自動車の電子系統にかからない様ウエス等を使用しながらおこなってください。

⑤ ハンドル部を持ち、振って撹拌する事で泡立ち具合を確認してください。
振ってのテストの際は頭のポンプ部が外れぬよう十分に注意して縦に振ってください。

⑥ １回の吸い上げ量で点検は可能ですので、２回以上は吸い上げないでください。

⑦ 点検後の冷却水はリザーブタンクに戻してください。
（万一、抜いた冷却水を廃棄する場合は法令に従って適正な処理を行ってください。）

使用上の注意

- 用途以外に使用しないでください。
- 液が入っている時は、倒立状態を保つようにして横倒しにはしないでください。
- 投げたり、落としたり、乱暴な取扱いをすると破損の恐れがあります。
- ガソリン・灯油・シンナー・オイル・ベンジンなどへは、絶対に使用しないでください。
- 点検する際は必ずリザーブタンクでおこなってください。
- 走行直後等で冷却液が熱くなっている場合は、やけどしないように保護手袋を着用の上、取り扱いには十分注意してください。
- 万一、やけどした場合は患部を水道水等で十分に冷やし、異常を感じる場合は医師に相談してください。
- 誤って冷却水が目に入った場合は直ちに水道水で洗眼し、医師の診察を受けてください。
- 保管時には汚したり、ホース部に砂埃等が入らないようにしてください。

※ 耐熱温度は、本体：120℃　ポンプ部（ピンクのゴム部分）：55℃です。
バブルナースはリザーブタンクより抜き取った冷却水を振って点検する事を想定しています。
ポンプ部の耐熱温度との関係により点検時は本体を正立（ゴム部を上）させ横倒しにはしないでください。
また、液量調整時等ラジエター本体より冷却水を抜き取る際、ポンプ部に冷却水が入らないようにしてください。

東京科研株式会社